

2023(令和5)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2023年8月19日(土) 1回目：13時～14時 定員6名

【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム 交流会（近況報告）

3. 参加者数 1回目 8人（内訳：当事者0名、家族5名 専門職3名）専門職サポート含む

4. 当日の様子

今月の若年性認知症カフェは、お盆前でもあり参加される方が少なかったので、1回開催としました。当事者のお一人は、日課のウォーキングで真っ黒に日焼けしたと笑顔で話されていました。また、入院中のご主人の面会で久しぶりに名前を呼んでもらえたと喜ばれている方や、施設入所中の奥様の面会で、なぜか終始涙を流されていたと心配する旦那様…。どちらも在宅介護を頑張っ

てこられた方々で、今は病院や施設でのわずかな面会時間を心待ちにしている様子が窺われました。

5. 所感

「最近たまたま家族信託の説明を聞く機会があつて…」と話されるご家族の声に、皆さん興味津々。そこから財産管理についてお互いが知っていることを、熱心に情報交換会へ発展。これまで「まだまだ自分達には必要のない話だ…」と考えた事なかったという方から、「元気で、はっきり意思表示できる時にやるべき事もあるんですね」等の感想が聞かれました。他では聞く機会の少ない有意義な情報を、カフェに参加することで当事者やご家族が知ることが出来る…そんな役割も担って開催しております。今回のスイーツはプチケーキと参加者から頂いたお菓子でした♪



★次回予定：2023年9月16日（土） 以上